

湖 周 行 政 事 務 組 合 「 財 政 事 情 」

(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

湖 周 行 政 事 務 組 合

1 まえがき

今回の財政事情の公表は、平成25年10月1日から平成26年3月31日まで（平成25年度下半期）の予算及びその執行状況についてのものです。

2 平成25年度下半期における湖周行政事務組合会計予算の状況について

（1）歳入歳出予算額及び収支状況を第1表に示しました。

ア 歳入について

歳入は、ごみ処理施設の建設に関する委託料の財源について、国からの循環型社会形成推進交付金として対象事業費の1/3を見込み、当初予算で68,460千円を計上しておりましたが、国からの内示額は62,470千円となっていました。その後国の補正予算に伴い、減額分及び平成26年度事業前倒し分として347,311千円追加内示を受けたため、26年度事業前倒し分312,851千円を増額補正しました。

組合債について、当初予算で124,800千円を計上しており、国からの同意額も同額となっております。

繰入金のごみ処理施設の周辺整備のために積み立てた基金からの繰入金です。

収入済額は、415,790,419円で現行予算額の28.2%となりますが、その大部分は、関係市町からの負担金と、国からの交付金が主な収入です。

組合債は26年4月の借入れとなります。

なお繰越事業の財源935,181千円は翌年度の収入となります。

イ 歳出について

執行状況については、269,632,576円で現行予算額の18.3%となりますが、中間処理施設である諏訪湖周クリーンセンターの整備に伴う造成工事、岡谷市清掃工場解体工事における請負費の一部支払い、職員給与及び共済費等によるものが主な内容です。残りの工事請負費や業務委託料のうち222,157千円は出納整理期間中（平成26年4月～5月）に執行することになります。

また衛生費予算額の内967,652千円は26年度前倒し分として、翌年度へ繰越しました。

(2) 歳出予算の概要について第2表に示してあります。主な内容としては、以下のとおりです。

1 款 議会費は、議員報酬129千円及び議会等会議録作成委託料139千円が主な内容となっております。

2 款 総務費は、特別職職員報酬、職員給与及び共済費47,748千円が主なものです。

3 款 衛生費は、中間処理施設建設に係る工事費及び業務委託料1,194,744千円、岡谷市清掃工場の解体に伴う岡谷市発生ごみの共同処理費173,250千円を計上しています。

業務委託の内容は、諏訪湖周クリーンセンター建設運営事業者選定、同センター設計施工監理、解体工事施工監理、環境影響評価書作成等です。

補正予算は総額で1,054,055千円の増額となっておりますが、衛生費の1,023,651千円については、国の補正予算により26年度事業前倒し分として、岡谷市清掃工場解体工事費、敷地造成工事費、諏訪湖周クリーンセンター建設工事費等を計上しました。公債費30,404千円については、岡谷市清掃工場の無償譲渡を受けるにあたり償還が残っている起債を組合が引き継いだ分を計上しました。

国の補正予算に伴う26年度事業前倒し分は、その全額を26年度へ繰越しました。

(3) 第3表は歳出予算を性質別に分類したものです。

(4) 第4表は住民負担状況として、組合予算における関係市町負担金の内訳について示しました。

負担割合としては均等割10%、実績割90%としており、実績割については各市町の平成27年度に目標としているごみ排出量により負担割合を設定しています。各市町における負担割合及び負担額は表に示したとおりです。

3 むすび

平成25年度は、環境影響評価における着工前手続きが完了し、解体工事・造成工事に着手しました。平成26年度はいよいよ諏訪湖周クリーンセンターの建設工事が始まりますが、平成28年9月の稼動に向けて引き続き鋭意努力してまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。